

# アイリス Letter

## 保護者の皆様へ

2024年2月29日発行  
第10号  
広島女学院中学高等学校



### <聖書のことば>

何を守るよりも、自分の心を守れ。  
そこに命の源がある。

箴言 4章23節

2月も終わりを迎えました。いつの間にか春が近づき、中高間の道路の桜の木の芽はもうしっかりふくらみ始めています。陽の光もまぶしさが強くなり、新鮮な命の力を感じています。

高校3年生は、大学入試に臨む時でした。毎朝自習室に集まり、高校3学年会の先生方と礼拝を守っていました。礼拝後に、先生がお一人お話をされています。そのひと時がある事はなんと喜ばしいことでしょう。

中学校では、朝のホール礼拝で、生徒がお話をする生徒礼拝があります。4月から、中3、中2とひとクラスずつ奏楽と感話を担当してきました。3学期はいよいよ中1も担当しました。そして、2月27日のホール礼拝で中学校の全15クラスが担当する生徒礼拝が終わりました。生徒のお話を聞きながら、広島女学院にいることの意味を改めて感じさせてもらっています。このひと時があることは、なんと恵みのあることでしょう。

当たり前の日が、当たり前過ぎていくことにも本当に感謝しています。一方で、逆にとても大変な一日を過ごした人もいるはずです。そんなときは、ひとりにならず、友達に、先生に、家族に「助けて」と言いましょう。

喜びもあり、悲しみもある一日一日ですが、神様は、私たちの中にこそ命の源があると、言って下さっています。周りからの影響、周りへの対応に右往左往し、自分を見失う私たちに、自分の周りばかり見るのではなく自分の心の内を見なさい、そこから希望が生まれると言ってくださいます。

(校長)



## 中学入試、オリエンテーションについて

1月19日(金)に、昨年より多くの受験生をむかえ中学入試が行われました。

前日より中3・高2の生徒たちは入試準備で教室掃除を担当し、気持ちの良い環境を整えてくれました。また、入試当日、朝早くから受験生が安心して試験に臨めるよう働いてくれた補助生徒の皆さんにも心から感謝します。

合格発表の後、2月3日(土)第1回新入生オリエンテーションで制靴やカバン等の購入、17日(土)の第2回オリエンテーションを終え、新入生はいよいよ4月6日(土)の入学の日を待つばかりとなりました。在校生の皆さん、新しい女学院生を笑顔で歓迎しましょう。

(中学教頭)

## 2024年度中学生徒会役員 選挙結果

来年度の生徒会五人委員は次の人たちが選出・承認されました。

五人委員    2年3組    F. K. さん  
                  2年5組    S. A. さん  
                  2年5組    Y. Y. さん  
                  1年1組    A. M. さん  
                  1年3組    S. K. さん



選出された五人委員には、女学院中学校生徒会の伝統を守りつつも、さらに発展し続ける生徒会であるよう、それぞれの力を十分に発揮していってくれることを期待します。

(中学選挙管理委員会顧問)

## 中学英語オラトリカルコンテスト

2月6日(火)に第48回オラトリカルコンテストを開催しました。中1・2は暗唱を、中3とインターナショナル部門の生徒はそれぞれのテーマでスピーチを発表しました。

各クラスの代表者は緊張に負けず練習の成果を十二分に発揮し、壇上で堂々と発表を終えました。中1・2は単に暗記した英文を読み上げるのではなく、そのストーリーがうまく伝わるように様々な工夫を凝らしていました。中3は自分の思いや経験を通して考えたことや、社会的な話題に対する意見を、スピーチを通して聴衆にうたえました。どの発表もオラトリカルコンテストの伝統にふさわしいものでした。聞く側の生徒も真剣に各々の発表に聞き入り、発表者が全力を出せる雰囲気を作っていました。また、MC(進行役)の中3生はコンテストを円滑に進めただけでなく、クイズなどで会場を大いに盛り上げてくれました。前向きに参加してくれた生徒の皆さん、ありがとうございました。

受賞者は以下の通りです。

<b>中1</b>	1位	K. Y.	(1-3)	<b>中2</b>	1位	I. W.	(2-1)
	1位	M. A.	(1-4)		2位	T. I.	(2-5)
	3位	U. R.	(1-5)		3位	F. K.	(2-3)
	敢闘賞	H. F.	(1-1)		3位	U. R.	(2-3)

中3	1 位	I. H.	(3-3)
	2 位	K. M.	(3-2)
	3 位	K. R.	(3-1)
	敢闘賞	F. T.	(3-5)

インターナショナル部門			
	1 位	N. K.	(3-3)
	2 位	M. L.	(1-2)
	敢闘賞	A. M.	(1-1)

(英語科)

## グローバル教育関連の活動について

### ①Global Issues (G I) 高1生 九州研修

2月10・11日に実施した九州研修ですが、とても充実したものとなりました。以下、生徒の声にて紹介します。

一日目は沖縄戦の際に最も多く特攻機が出動した基地のあった、知覧市の知覧特攻平和会館へ行きました。ここには特攻で亡くなった全員分の写真と、多くの遺書が展示してありました。一人ひとりの写真や遺書を見ていくうちに、国を信じつつ、恐怖やこの世に残した沢山の未練があったことを感じ、胸が痛くなりました。

熊本の水俣市では高度経済成長の裏で起こった水俣病について学び、水俣での悲劇は今もなお続いており、無知の恐ろしさを感じました。

二日間の研修を通して歴史を学び、未来で二度と同じことを繰り返させないことが私達に託されていることを感じました。これらの貴重な経験をこれからの活動に生かしていきたいと思います。

(G I 高1生)

### ②フェリス女学院高校との碑めぐり交流会

2月7日(水)午後、フェリス女学院高校1年生との碑巡り交流会を平和記念公園・国際会議場で開催しました。広島女学院からは中3～高2の87名の希望者が参加し、フェリス生と女学院生が混合した20のグループに分かれて9つの慰霊碑を巡りました。交流会では礼拝の後、フェリス女学院の有志生徒による調べ学習の報告、広島女学院生による平和活動や平和学習の紹介を行い、各グループに分かれて短時間のディスカッションを行いました。碑巡り実施後のまとめにおいては、「多様性が進む社会で、様々なルーツを持つ人たちがみんなでいろんな意見を出し合って難しい問題も共に考え合うことが、平和な世界をつくるために必要な第一歩だと感じた」という生徒の感想がありました。同世代で真剣に戦争・平和についての話をしたことは、両校の生徒にとって内面を大きく揺さぶる出来事だったようです。この経験を、またこれからの各自の平和活動に繋げていってほしいと思います。



(碑めぐり係)

### ③ニュージーランドターム留学

中学校では、今年度よりニュージーランドの現地校に1ターム(学期)留学するプログラ

ムを開始しました。1月末からニュージーランドで留学生生活を始めている中学3年生のK.Y.さんからの現地レポートをお届けいたします。

私が暮らしているニュージーランド北島にあるロトルアは、とても自然が豊かな地域です。大地熱地帯に位置しているために温泉もあり、大分県別府市と姉妹都市になっています。

私が通っているのは、John Paul College という共学のカトリックの学校です。ニュージーランドの先住民族であるマオリの文化をととても大切にしている学校で、マオリやカトリックのいろいろな学校行事があります。また、様々な国籍の生徒がたくさんいるため、それぞれの文化をととても大切にしている学校です。

こちらに来てから最初の一週間は、周りの環境や英語になかなか慣れることができず、とても辛くて、一人になるといつも泣きたくなっていました。学校が始まって、周りの留学生は数ヶ月、語学学校に通ってから私と同じ時期に入学した生徒がほとんどで、自分だけがうまく英語が話せなくてとても悩みました。しかし、みんなそれぞれバックグラウンドやルーツが異なるため、比較するなら過去の自分だというお話を聞いて、気持ちが楽になりました。



また、私はバレーボールチームに入ってから、友達が増えたと思います。私が所属しているシニアチームは、三学年の男女で練習をするため、身長とパワーがあって、一緒に練習していてとても楽しいです。スポーツは言葉の壁を超えて楽しめるので、素晴らしいと思いました。

日本の学校生活と大きく違うところは、インターバルの時間があるところです。二時間の授業を終えたあと、25分の休憩があります。日本のようなホームルームはないため、みんな外でお菓子を食べたり、体を動かしたり、お話ししたりしています。女学院もこの時間を取り入れたほうが良いと思いました。

ニュージーランドの人々は、のんびり自分の時間を大切にしながら生活していて、それが本当に私にとって暮らしやすく、充実した生活を送ることができています。一ヶ月後に帰国しなければならないことを考えるだけで寂しくなりますが、残りの時間も日本ではできないことにたくさんチャレンジして過ごしたいと思います。

(グローバル教育推進部)

## 新たな女学院「愛」生む「じょがく in LOVE」

2月10日(土)に小学3～5年生を対象とした冬のオープンスクール「じょがく in LOVE」を開催しました。小春日和の中、たくさんの小学生のみなさんをお迎えしました。今回のオープンスクールでは、共通で行われたホールプログラムに加え、複数のプログラムから選ぶ体験プログラムがありました。

ホールプログラムでは、吹奏楽部の迫力ある演奏にはじまり、「体を動かす〇×クイズ」、学校紹介、海外研





修報告など、どれも女学院らしさを盛りだくさんに詰め込んだ内容でした。特に生徒主体の発表は素晴らしいものでした。クイズといえど女学院トリビアを織り交ぜて解説するという中3のアイデアには脱帽。また、オーストラリア研修の発表をした中3は楽しくコミカルに伝えつつ自分の成長を見つめており、高3のハワイ研修発表では、平和、歴史、文化の観点から

圧倒のプレゼンテーションを披露してくれました。参加者の方々に女学院の魅力を存分に感じていただけたのではないかと思います。

体験プログラムでは授業体験や部活動体験、校内ツアーなど全部で11個のプログラムの中から1つを選び体験していただきました。教科の体験では、知的好奇心を刺激し「学ぶって楽しい!」と思っただけだと感じています。部活動体験では、「入学したらこの部活動に入部したい」などの声も上がっていました。どのプログラムも、先生や女学院生と小学生の皆さんが楽しそうに交流している姿が印象的でした。おみやげには生徒デザインのチョコレート。

冬のオープンスクール「じょぐく in LOVE」。女学院を愛する生徒、先生によって、新たな「愛」の芽が生まれた一日となりました。

(広報部)



## 保健室だより (10)

冬から春に気候が変わり、だんだん暖かくなってきました。この時期は寒くなったり、暖かくなったりを繰り返す時期です。また低気圧と高気圧が頻繁に入れ替わる気圧変動が大きい時期でもあります。そのため、身体のバランスをとる自律神経が乱れ、疲れやだるさを感じやすくなります。この時期を元気に過ごすため、次のことを心掛けていきましょう。

### 春を元気に過ごすために大切なこと

- ①食事は毎食バランスよく食べる
- ②こまめに身体を動かす
- ③入浴はシャワーだけでなく、湯船につかる
- ④睡眠をしっかりとする
- ⑤衣服で温度調節をする

学校ではベストやカーディガンを脱ぎ着して、体温調節をしましょう。

高校3年生は明日で卒業礼拝を迎えます。女学院で過ごした6年間はどうか？振り返れば多くの思い出があることでしょう。家族や周りの方々に支えられ、様々な経験を通して、皆さんは大きく成長しました。ここまで頑張ってきた自分自身を受けとめ、褒めてあげましょう。経験こそが宝です。これからも様々なことに積極的に挑戦してください。また、何をやるにしても心身の健康が大切です。毎日の生活の中でしっかり体調を整えていきましょう。

(保健室)

## 心の健康 (10)

もうすぐ3月となり、今年度も終わりです。この1年もカウンセリングルームで心理相談

を中心に面接をしてきました。定期的に継続する相談も1回きりや短期の相談も多く、生徒の来室は、年々、多くなってきています。心の健康を保ったり、心のバランスを維持していくのがしんどかったりする場合は、継続面接が必要ですし、自分の考えや気持ちの整理をしたり、確認をしていくのには、1回あるいは短期の面接がいいようです。話をして人に聞いてもらい安心をし、納得して心のバランスを立て直します。3月は1年間のまとめをしたり、日頃のことを振り返ったりします。そして、ひと区切りをつけます。ひと区切りをつけることによって心は整理され、次への意欲が湧いてきます。3月でひと区切りをつけて、新しい意欲を秘めて新年度・新学期の4月を迎えましょう。

(カウンセラー)

## 生徒の活躍

◇高校理科部 化学班

令和5年度広島県科学セミナー第3回科学セミナー（発表会）

審査員特別賞 戸田工業賞

発表者 2-D K. A. 1-A N. Y. 1-A Y. R.

◇2-3 I. A.

令和5年度東広島アザレア賞

（第24回大阪国際音楽コンクール（ユース部門自由曲ジュニアコース）第2位）

◇3-5 M. M.

令和5年度（2023年度）ひろしまフェニックス賞

（第56回カワイピアノコンクール 全国大会 連弾部門 大賞）





## 今月の聖句

そのとき、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。」

ルカによる福音書 23 章 34 節

2月14日から、キリスト教の暦の中でレント（受難節）という期間が始まりました。レントとは、イエスさまの十字架の苦しみをおぼえて過ごす期間です。

イエスさまは辺境の地ガリラヤで、貧しい人々と共に生き、病を持つ人を癒しておられました。次第に、民衆たちの中で「イエスは奇跡を起こせるすごい人。自分たちの苦しい生活を奇跡で変えてくれるかも。」という期待が広がります。同時に、当時のユダヤ教指導者たちは影響力を持ち始めるイエスさまを脅威に感じます。指導者たちに目を付けられたイエスさまは、逮捕され、裁判にかけられます。あっけなく逮捕されるイエスさまの姿を見た民衆たちは「逮捕されちゃうんだ。もう期待できない。」と判断し、指導者たちの扇動もあり、イエスさまを十字架にかけるように、と叫びます。

今月の聖句となっているのは、イエスさまの十字架上でのお祈りの箇所です。イエスさまはご自身が十字架で痛んでいる時、「彼ら」のために祈ります。彼らとは、イエスさまを十字架にかけた一人ひとりのことです。

もし私がイエスさまと同じ時代に生き、この場にいたとするならば、きっと周囲に流され「イエスを十字架にかけろ」と叫ぶか、自分には関係ないことだと傍観していただろうと想像します。しかし、そんな私のために十字架上のイエスさまは祈ってくださっているのだと思います。そのことに希望を持って、このレントの期間を歩んでいきたいと思います。

(聖書科U. R.)

### 3月の行事予定

1	金	(高)卒業礼拝(中1・2・3、高1休日) 高2出校日
2	土	保護者対象進路講演会(午後) (L・総)
3	日	
4	月	期末テスト(中3、高1・2)
5	火	(中1・2)1限8:55~15分休憩
6	水	1限8:55~15分休憩
7	木	1限8:55~15分休憩 (高2)教科書販売
8	金	自宅学習日 高2代ゼミマーク模試 新高2スタディーサポート
9	土	
10	日	
11	月	テスト返却 1限8:55~
12	火	1限8:55~
13	水	特別時間割 1限8:55~ [NC]
14	木	探究フェス 期末テスト素点確認
15	金	中3・高1ダンス発表 中1・2個人写真 教科書配布 中3副教材販売
16	土	マウントユニオン大学研修 高2補習
17	日	
18	月	終業の日 (中)卒業礼拝
19	火	
20	水	春分の日
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	韓国研修
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	GLHワイ研修
31	日	イースター



NC・・・ノークラブデイ

※行事予定は変更になることがあります